

宮代の水の生きもの

2020. by 内岡



(長岡大.大庭氏(生物)図鑑より)

モリアオガエル

- 水辺に張り出した低木の枝で白い卵塊を作り、産卵する珍しいカエル。卵化したオタマシクシは、そのまゝ落下して泳ぎ出す。1ヶ月ほど"カエルの姿"になり、やがて、森林生活に入っていく。
- 森林生活のために手足の吸盤が発達しているのが特徴。オスは体長40~70mm。メスは、60~80mmになる。オスは、「コカコカ、コカコカ」と鳴く。
- 数が減っており、絶滅危惧種に指定されている都府県が2近くある。近年も減っており、宮代の長世が、山梨県の「天然記念物」となっている。

• 宮代では、5月下旬~6月にかけて、白い卵塊が見られる。

両生類

- (E) リアオガエル 森のカエル。近年確認された所。
- (E) リアオガエル 30年前には確認できた所。
- (E) ナマガエル 水辺のカエル。水田・水路等どこにでも。
- ツチガエル 水辺のカエル。せいのな流水にはどこにでも。
- アマガエル 宮代地内。植物の多いところにはどこにでも。
- ヒキガエル 大型のカエル。あまり見なくなった。
- イモリ(アカハライモリ) 宮代地内。水の多いところには、どこにでも。
- ウシガエル ため池にいたが、声とまなくなった。

魚類

- コイ 鯉。ため池に放されたもの。泥川(山田川・御所川・榎川が重流と合流)
- フナ キンギナヒハナナ。ため池。泥川。
- ブラックバス 大谷池に放されたもの。増加。蛇池は駆除済み。
- アブラハヤ 「あぶらっへ」。宮代の水路の特徴的な魚。
- ヨシボリ 吸盤状の胸びれが特徴。
- アカサ 「あかなます」。5~6cm。胸びれにトゲ。山田川。
- ドジョウ 水田水路等どこにでも。昔は、泉にイトケガエリよくみられた。

泥川(表庄との境をなす川。山田川・御所川・榎川が合流) 上記の魚の他に、カワムツ、オカワ、ニギイ、ヤリガ、タノイ、シロギ、サケ、アユ、ナマス、ウナギ、メダカ、シメジヨウ、カマツカ、タモロコ、カ、いる。モウガニ、イタビ、ツツク

甲殻類、貝類

- シエビ 川エビの代表。透明な体に黒い目。ため池や、山田川。
- アリカサリガニ 「えびがに」。水田水路等。地政官と数が減った。
- タニシ 水田に多かったが、数が減った。
- カワナ 宮代地内の水路には、どこにでも。
- マジミ 宮代地内の水路には、どこにでもいた。みそ汁の具に使った人もあった。

